

四月二十六日号から、県内を五ブロック(県北・県央・県南・県西・鹿行)に分けて一ブロックずつ代表的な地震による被災箇所を復旧完了状況を紹介しております。

今回は前号に引き続き、県央ブロックの主な被災箇所、特に大きな被災があった酒沼を紹介します。

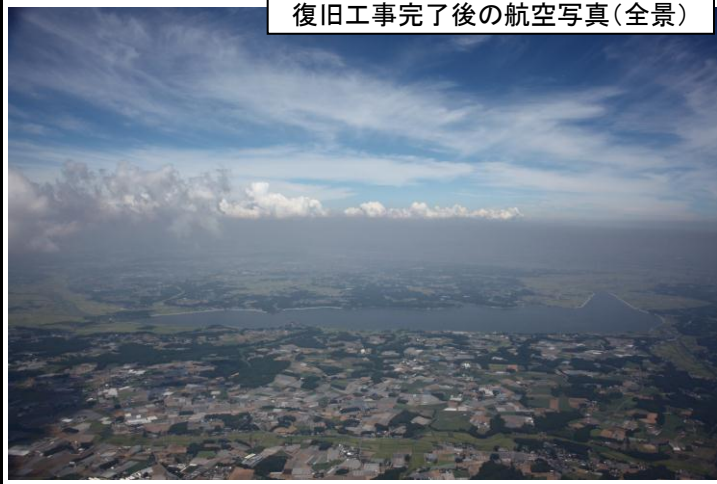
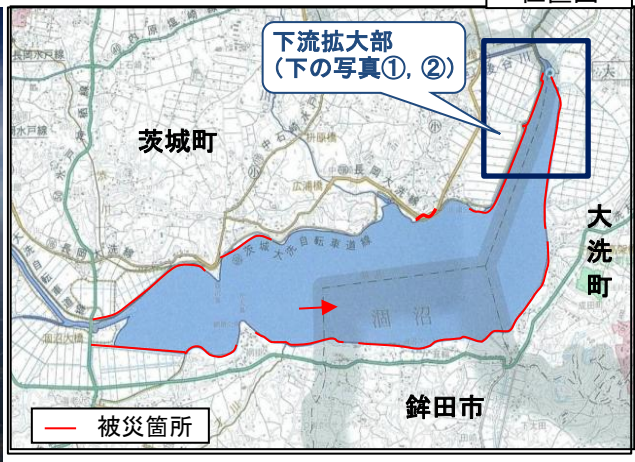
前号では羽田国土交通大臣が現地視察にいられたことと、酒沼の堤防復旧工事の流れを紹介しました。

今回は、酒沼の復旧工事後に航空写真を撮影したことを紹介します。七月に復旧工事が完了し、八月二十五日に航空写真を撮影しました。被災直後写真(①)と比べ、復旧工事完了後写真(②)では護岸の張りブロックの白さが分かると思います。これは護岸の崩壊(写真③)に伴い、被災したブロックを撤去し、新しい張りブロックを設置(写真④)したことによります。また、裏面に地盤沈下による酒沼の被災のメカニズムを示します。(被災直後の写真を拡大することにより、堤防の大きな亀裂など確認できます。)

九月末の時点で河川・海岸・砂防等の災害復旧は箇所数ベースで八十五%程度完了しました。

次号からは、随時完了した災害復旧の現場の紹介と現在行っている河川課の事業等を紹介していきます。

位置図



復旧工事完了後の航空写真(全景)

写真① 被災直後の航空写真(拡大部)



写真② 復旧工事完了後の航空写真(拡大部)



写真③ 被災直後の状況



写真④ 復旧工事完了後写真



◎ 酒沼堤防の復旧

【復旧完了箇所】



酒沼の周辺は、明治時代から農地として干拓されたところでもあり、地盤が軟弱であるところが多いです。また地下水位が高く、東日本震災による大きな揺れにより、基礎地盤の支持力が低下しました。下の図1のように基礎地盤が沈下したことから、堤体も沈下し亀裂が生じました。更に、下の図2、3のように堤体の土塊が横方向にも広がり護岸の崩壊も生じました。

堤体の沈下と亀裂



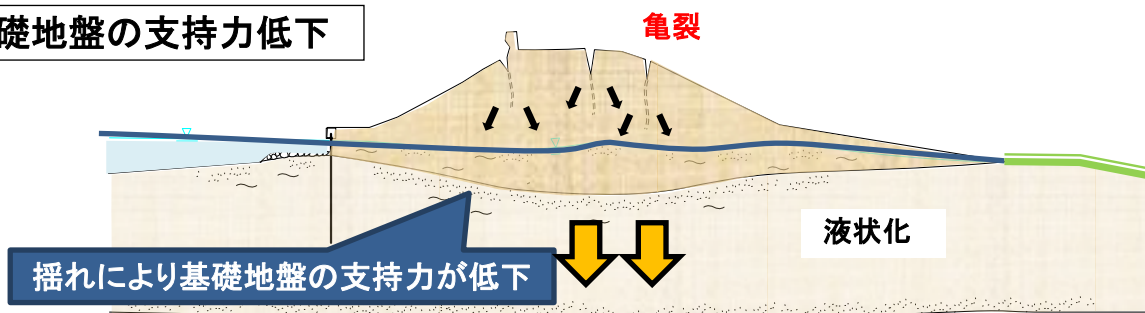
深さ
40cm

被災前の酒沼川

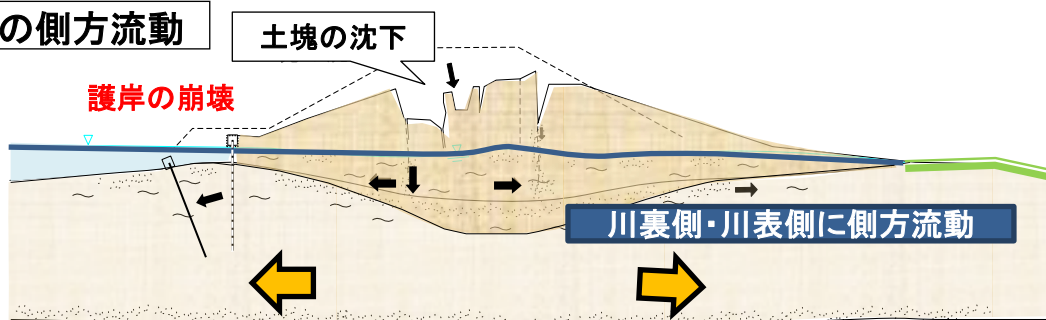


地震発生!

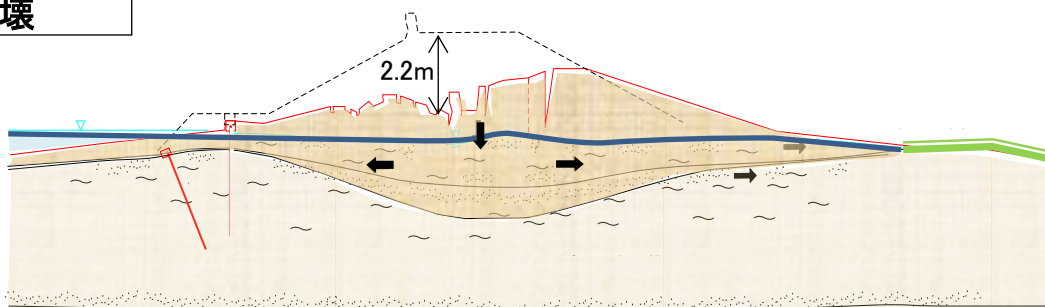
1. 基礎地盤の支持力低下



2. 基礎地盤の側方流動



3. 堤防の崩壊



【河川かわら版】

発行 茨城県土木部河川課

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

TEL 029-301-4485

HPアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/doboku/01class/class06/>



茨城県

